

## 発見びっく！「水の中の小さな生きもの」

日 時： 2011年7月30日（土） 14：00～15：30

場 所： 鶴見川流域センター1Fコミュニティルーム

参加者： 43名（子ども23名、大人20名）



気分は研究者！微生物はどこかな？

慶応義塾大学の岸先生を講師にお迎えし、実施した今回の講座。テーマは「水の中の小さな生きもの」。普段の暮らしでは見ることが出来ない小さな生きものを顕微鏡を使って観察しました。岸先生が慶応大学で採取した水や2階展示ルームの流域水族館のろ過フィルター、センター裏の田んぼや水路の水、極めつけはイースト菌を水に溶いたもの顕微鏡で覗き微生物を探しました。岸先生に顕微鏡観察のアドバイスを頂き参加者の皆様が自分で顕微鏡を操作し観察をしました。子どもたちは研究者になった気で「見つけた！」と微生物を発見しては歓喜の声を上げ、保護者の方は「イースト菌って初めて見たわ」「顕微鏡に触るなんて学生のとき以来」ととても喜んでいらっしゃいました。中には、微生物をテーマに自由研究に取り組もうとする子がいたり講座は大成功に終わりました。

## すごい！おもしろい！「ハチのくらし」

日 時： 2011年8月6日（土） 14：00～15：30

場 所： 鶴見川流域センター1Fコミュニティルーム

参加者： 31名（子ども13名、大人18名）

今年で3回目となる大人気の講座。ハチは、私たちの暮らしとともに身近な場所で見られますが、どんな生活をしているのかなど、詳しいことを知っている人はなかなかいないのではないのでしょうか。今回も慶應義塾大学の片田先生を講師にお迎えし、ハチのグループや生態、観察のときのポイント、ハチに刺されない工夫などを実際の体験も交えて分かりやすくお話しをしていただきました。休憩時間には、生きているハチや巣などの観察も行いました。

講座前は、「ハチは刺す怖い生きもの」というふうに思っていた方が多かったのではないかと思います。お話を通して、ハチと仲良くなれそう、面白そうだからもっと詳しく調べてみようかなとみなさん感じていただけたことと思います。



体験談を交えて分かりやすく教えていただきました。



様々なハチの巣や本物のハチも観察

＜主催＞ NPO鶴見川流域ネットワーク（npoTRネット）、連携鶴見川流域ネットワーク（連携TRネット）  
＜共催＞ 地域防災施設 鶴見川流域センター  
＜協力＞ デイリーヤマザキ横浜小机町店

